

2026年度

崇城大学パイロット養成プログラム

(履修証明プログラム)

崇城大学パイロット養成プログラム（以下、「本プログラム」）概要

【目的】

エアラインパイロットとしての基本的な姿勢や考え方、および基礎的な操縦技量について修得することを最大の目的とする。また、世界的なパイロットの人材不足が叫ばれる中、パイロット養成の一助を担い社会貢献を果たす。

【特徴】

工学部宇宙航空システム工学科航空操縦学専攻（以下、操縦学専攻）の持つ優位性を履修証明プログラムにも活用し、本学の機材や教官によりエアラインパイロットの養成を行います。

それに加え、パイロット業務ではコミュニケーション能力やチームワーク力が求められることから、本学では技術面はもちろんパイロットとしての考え方（精神面）や生活習慣を養うことを目的に本学空港キャンパス内に寮を構え、集団生活をする事としております。以上のような取り組みを実施し、本プログラムにおいて即戦力となる人材育成を目指します。

操縦学専攻の優位性：

本学は工学部宇宙航空システム工学科に航空操縦学専攻を設置し、国内で唯一の空港に直結したキャンパスで一貫教育を実施し、エアラインを目指すパイロットの養成を行っており、以下の優位性があると考えております。

1. 国内一貫教育

崇城大学空港キャンパスは阿蘇くまもと空港に隣接しており、エアラインの航空機が行き交う中で実践的な臨場感あふれる訓練を行っています。また、教官や訓練機材が全て自前であり一貫した教育が出来ることも本学ならではの強みです。

本プログラムが目指すゴールは、エアラインで活躍するパイロットになることです。そのためには、操縦訓練だけでなく、人格の涵養がとても重要です。これらの取り組みは次に示す本学の就職実績や一部エアラインより乗員養成訓練の委託を受けていることから見えるように、航空会社から高い評価をいただいていると考えております。

就職先：AIRDO（ADO）ANAウィングス（AKX）

天草エアライン（AMX）全日本空輸（ANA）ピーチアビエーション（APJ）

フジドリームエアラインズ（FDA）北海道エアシステム（HAC）

アイベックスエアラインズ（IBX）日本エアーコミューター（JAC）

日本航空（JAL）ジェットスター・ジャパン（JJP）ジェイエア（JLJ）

日本トランスオーシャン（JTA）オリエンタルエアブリッジ（ORC）

琉球エアーコミューター（RAC）スターフライヤー（SFJ）

スプリング・ジャパン（SJO）スカイマーク（SKY）ソラシドエア（SNJ）

※本プログラムでは一部海外で訓練を行う場合もあります。

2. 自前主義

本学は自前の教官・施設で訓練を行っています。本学では機材・教官・整備士・施設の全てを本学が所有または採用したもので責任ある体制を構築しています。また、この特性を活かし、資格取得後も就職まで手厚いサポートが可能となっています。

3. 経験豊かな教授・教官陣

本学では、エアラインで長年機長を務めてきた者や、自衛隊でパイロット養成にかかわってきた経験豊富な者が教授・教官として直接教育・訓練にあたっています。ベテランパイロットが自らの豊富な経験を伝授し、エアラインパイロットへと指導します。

4. 実習機・飛行訓練装置を活用した訓練

本学で選定した実習機のセスナとダイヤモンド DA42NG は世界中で飛行訓練の初期課程使用機材として利用されており、訓練に適した飛行特性・耐久性（強度）を備えております。

【受講期間】

2026年4月～ 最短2年

※訓練の進捗により、2年以上かかる場合があります。

【内容】

HP掲載内容参照

【修了要件】

J C A B 試験に合格し、以下を取得

- ・事業用操縦士技能証明（単発および多発）
- ・計器飛行証明

修了論文に合格すること

【単位授与の有無】

本プログラム全体および各講義に対する単位認定はありません。

【実施体制】

崇城大学 工学部宇宙航空システム工学科 航空機操縦訓練本部

出願に関する手続等

【出願資格】

1. 4年制大学を卒業した者またはこれと同等以上の資格を有する者
2. 身体検査基準
 - ① 2025年4月1日以降に受診し、航空身体検査基準（第1種）に適合する者。
 - ② オルソケラトロジー（コンタクトレンズによる屈折矯正術）による矯正を行っていないこと。
3. 英語能力
2024年10月1日以降に受験した IELTS™ のスコアがオーバーオール：6.0以上であること。
(General Module、Academic Module 何れも可)

※英語能力を証明できる資格は他にもありますが、上記テストを判断材料としますので、未受験の方は、出願までに受験してください。IELTS™ 公式の成績証明書が発行されるまでに時間を要する場合がありますので、余裕をもって受験してください。

【出願期間】

2025年10月14日（火）～10月23日（木）（必着）

【出願方法】

後述する【出願書類一覧】の書類をご準備いただき、出願期間内に提出してください。
漏れの無いよう（記入漏れや修正等を含む）準備をお願いします。
なお、出願書類に明らかな不備や不正が認められた場合には、合格発表後に合格を取り消すことがあります。

【定員】

若干名

【検定料振込先】

本プログラムの選考における検定料振込先は下記の通りです。

三菱東京UFJ銀行
熊本支店 当座 9011356
学校法人君が淵学園 理事長 中山峰男
がく) キガフチガクエン リジチョウ ナカヤマミチ

【出願書類一覧】

出願希望者は下記に示す書類をご提出ください。

1. 志願書

- ・ 所定の様式により作成すること
- ・ 写真のサイズは、4 cm（タテ）× 3 cm（ヨコ）

2. 自己申告書

- ・ 所定の様式により作成すること
- ・ 800字程度にまとめて直筆で記述すること

3. 履歴書

- ・ 任意の様式により作成すること
- ・ 写真を貼付すること
- ・ IELTSTMのスコアを記入すること
- ・ 航空無線通信士資格取得者は、取得資格の欄に記入をすること

4. IELTSTM公式の成績証明書 (Test Report Form) (写し可)

- ・ 紙媒体であること (写メール等データ不可)

5. 「航空機操縦練習許可申請書」の写しまたは「航空身体検査証明申請書」の写し

- ・ 2025年4月1日以降に受診し、発行されたものであること
- ・ 受診の際には、「航空機操縦練習許可申請書」の「既往歴等」に自身の既往歴をすべて正直に申告すること

(重大な申告漏れがあった場合には合格を取り消すことがあります)

※次頁（注1）を必ずご一読の上、第1種適合が判断できる書類を提出すること

6. 卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書

- ・ 最終学歴のものを提出すること

7. 検定料払込証明書

- ・ 検定料3万円を支払った証明書を同封すること
 - ・ 紙媒体であること (写メール等データ不可)
- ATM利用明細等、検定料を指定の振込先に支払ったことが分かるものであれば可

(注1)

◆医療機関での受診について

航空身体検査指定機関については、【一般財団法人 航空医学研究センター】のホームページが参考になります。受診される際には事前に各検査機関にお問い合わせの上、予約が必要です。お問い合わせの際に「崇城大学を受験すること、そのために航空身体検査証明申請書等の提出を求められていること」「第1種に適合するか否かを記載いただく必要があること」をお伝えください。

航空医学研究センターのホームページ (<https://www.aeromedical.or.jp>) は、下記のコードからも確認していただくことができます。



◆航空身体検査について（注意点）

航空身体検査は国土交通大臣の指定する医療機関で受診する必要があります。時期によって受診予約が混雑する場合がありますので、早めに予約を行い受診してください。受診して検査結果が出るまで時間を要する場合がありますので、出願期間までに余裕をもって予約してください。

【選考方法・日程】

区分	選考方法	試験日	合格発表日
一次選考	書類選考	—	11月初旬以降
二次選考 (一次選考合格者対象)	面接（口頭試問）、 適性等の結果を 総合して判断	11月16日（日）	12月5日（金）

※選考結果は、本人宛に郵送にて通知します。

※合格発表日に発送いたしますので、地域によっては2～3日かかる場合があります。電話・メール等による可否の問い合わせには一切応じません。

【受講料等について】

受講に係る費用は下記の通りです。

本プログラムの受講料

22,860,000円

内訳

(単位：円)

	1年目	2年目	計
検定料	30,000	—	30,000
入学金	30,000	—	30,000
授業料	400,000	400,000	800,000
訓練に係る実習費	11,000,000	11,000,000	22,000,000
	(5,500,000ずつ 2回の分割払い)	(5,500,000ずつ 2回の分割払い)	
計	11,460,000	11,400,000	22,860,000

その他、本プログラム開始に際し、

※教材・実地試験料等500,000円程度および、入寮費80,000円、

寮費80,000円／月の費用がかかります。また、電気代は実費徴収とし、水道代は2,000円／月の費用がかかります。(2026年4月以降予定)

※海外訓練を行う場合は、VISA取得費用他100,000円程度の費用がかかります。

※受講開始から30ヶ月間を超えて、31ヶ月以上在学する場合、31ヶ月目の時点から半年ごとに授業料として別途200,000円の費用がかかります。

※一旦納入された費用に関しては、返金できませんのでご注意ください。

【受講手続きについて】

受講手続は入学金、授業料及び実習費を納入することにより完了します。納入期限までに履修許可書に同封の振込用紙を使用して入学手続きを行ってください。

納入期限	12月15日(月)
金額	5,930,000円

※訓練に係る実習費は半期分ずつの納入となります。

※所定の期日までに手続きを完了しない場合は、受講が許可されません。

【出願手続きに関する問い合わせ先・出願書類郵送先】

宛 先 崇城大学 教務課
郵便番号 860-0082
住 所 熊本市西区池田4丁目22-1
E-mail kyomu@ofc.sojo-u.ac.jp
緊急連絡先 096-326-3406 (直通)
受付時間 8:30~17:30 (平日のみ)

※回答にお時間を要することがございますので、予めご了承ください。また、原則としてE-mailにてお問い合わせをお願いいたします。

【訓練・内容に関する問い合わせ先】

宛 先 崇城大学 空港キャンパス
郵便番号 869-1104
住 所 熊本県菊池郡菊陽町大字戸次1569-1
電 話 096-285-6493 (直通)
E-mail pilot@arsp.sojo-u.ac.jp
受付時間 8:30~17:30 (平日のみ)

【受講場所】 空港キャンパス MAP



履修証明書(例)

第20〇〇-00001号

学生番号	9999999	氏名	航空 太郎	生年月日	西暦00年00月00日 生
学校教育法第百五条の規定に基づき、本学所定の崇城大学パイロット養成プログラム「〇〇時間」を修めたことをここに証する。					
プログラムの概要 (注)	本プログラムは、主として「パイロットを目指す社会人」である者を対象として、「パイロットとしての基本的な姿勢や考え方、および操縦技能の基礎を身につけた即戦力となる」ような人材(能力)を養成することを目的とし、「対面式の座学での講座」、「対面式でのFTD(飛行訓練装置)を利用した模擬飛行訓練」、「対面式での実機訓練」等を内容としたカリキュラムを提供するものである。				
取得資格	資格名	資格取得日	飛行時間	備考	
		総飛行時間			
成績	科目名				
	時間 評定				
総時間〇〇					

上記のとおり証明する

西暦00年00月00日

崇城大学学長 小野 長 門



〒860-0082 熊本市西区池田 4-22-1

TEL 096-326-3111 (代表)

FAX 096-326-3000

Mail kyomu@ofc.sojo-u.ac.jp

教務課直通

096-326-3406